



# 河小だより



四日市市立河原田小学校  
学校通信 第36号  
令和5年12月18日(月)  
文責 校長 鳥居 純樹

12月に入り、インフルエンザが猛威を振るっています。本校でも11月後半から学級閉鎖や学年閉鎖が続き、子どもたちがいない寂しい教室が見られるようになってきました。

22日(金)の終業式には、全員そろって二学期を締めくくりたいと考えています。手洗い、うがい、換気に心がけ、規則正しい生活をする事で、インフルエンザ予防をしていただき、子どもたちが元気に登校できることを願っています。

## 四日市農芸校区との交流会

12月11日(月)1年生から3年生が四日市農芸高校にでかけ、交流会をもちました。1年生は、ゲーム体験やクリスマスカード作成、2年生はクッキーづくりや羊やウサギとのふれあい体験、3年生は体育館でのゲームと竹でのけん玉づくりなど農芸高校の皆さんが考えてくれた遊びや体験活動を楽しむことができました。

子どもたちは、農芸高校のお兄さん、お姉さんと楽しく会話をしながら、困ったときには、質問をするなどして楽しい時間となりました。農芸高校の生徒にとっても、小学生とふれあうことで思いやる心や地域でのかかわりが生まれ、貴重な体験になったと農芸高校の先生方が話してくださいました。河原田校区にある高等学校です。この交流会をきっかけに様々な活動での連携ができればと考えています。農芸高校の皆さん、大変お世話になりました。



交流会を通して様々な人とふれあうことで、自分の見識を広げること、関係が広がることを改めて実感しました。この交流会をきっかけで、町で出会ったときに声をかけ合えるようになることで、「ささえ愛の町河原田」の実現にもつながっていくことと思います。



## 音楽交流

2年生と3年生が音楽の授業で学習してきた演奏や歌の発表をして交流しました。2年生は鍵盤ハーモニカの演奏を3年生はリコーダーの演奏を「山のポルカ」で学習していて、学習した歌とともに演奏を披露しました。それぞれの学年の発表が終わった後に「山のポルカ」を2・3年生の合奏をしました。それぞれの学年の演奏は素晴らしいものでしたが、鍵盤ハーモニカとリコーダーの音がきれいなハーモニーとなっていました。

3Aと2B、3Bと2A、3年生は交流会全体の運営し、上級生としての役割を果たしました。2年生も3年生の姿勢を見習い、3年生の演奏をしっかり聞き、元気いっぱいの歌声を発表しました。学年は違っても一つの曲をきれいに演奏しようとみんなの気持ちが一つになることで、素敵な合奏となりました。

学年やクラスが違って同じ目標を持ち、取り組んでいくことの大切さを改めて感じる事ができた時間となりました。学年間だけでなく、学校全体として一つの目標にみんなが向かっていけば素敵な河原田小学校になると信じています。



## 冬休みに向けて

1年生の生活科の学習で家族の毎日の仕事を調べ、自分たちでできることを考えて取り組みその様子を発表する学習をしています。子どもたちが仕事をしている様子をタブレットで撮影して、保護者が子どもたちの仕事ぶりを評価していただきました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

まもなく冬休みを迎えます。年末年始は大掃除やお正月準備など家族にとってもすることがたくさんあると思います。子どもたちといっしょに毎日できることを話し合っただき、役割を与えていただくことで、家族の一員としての意識をもたせていただければと思います。

1年生の授業の中で、子どもたちがお手伝いをする事が家族のためになることも実感できました。自分のためではなく、誰かのために、みんなのために仕事ができるようになるとうれしいです。冬休みのお手伝いをがんばることで、家族みんなが幸せな気持ちで新年を迎えられることを願っています。



家庭科の時間、お節料理について学習していました。一つ一つの料理には子孫繁栄や金運や健康を願って作られています。お節料理の風習は弥生時代から始まったといわれ、江戸時代には正月に食べる風習が広く浸透したようです。お節料理の意味を考えながらいただくことで、2024年が子どもたちにとって幸せな一年になることを心より願っています。（ご家庭で作られる際には、子どもたちにもお手伝いをさせていただきますようお願いいたします。）